



ミニゲームをする子どもたちと葛巻クラブの選手

サッカー協会主催 子ども向けフェス

町サッカー協会（城内誠一会長）は6月12日、総合運動公園で小学生を対象にしたミニゲームサッカーフェスを開催しました。

この教室は町青少年健全育成ミニサッカー大会の機運向上を目的とし、子どもたちは葛巻クラブの選手や富士大学スポーツ振興アカデミーの鳴尾直軌さん（元グルージャ盛岡監督）に指導を受けました。イベントには近隣市町村の児童も参加し、「ボールにたくさん触れる」をテーマにしたミニゲームを通して、子どもたちはサッカーの楽しさを体感していました。

子育てや定住を支援 出産祝い金など交付

6月15日、出産祝い金と定住対策住宅取得支援事業補助金の交付式が町長室で行われ、2組の家族が出席しました。

鈴木重男町長は「子どもは町の宝です。子育てしやすい環境、住みやすい環境を今後も充実させていきます」とあいさつしました。出産祝い金を受領した近藤雄介さん（田子）は「洗濯物が増えるので、洗濯機を購入したい」、出産祝い金と住宅取得支援事業補助金を受領した竹花光紀さん（新町）は「子どもに必要なものを揃えたい」と話していました。



町長から出産祝い金を受け取る近藤さん家族

五日市小で花植え 思いやりの心学ぶ

6月17日、五日市小学校（菅野信校長、児童23人）で人権の花運動が開催されました。

児童らは人権擁護委員の皆さんと共に、「思いやりの心を育てよう」というメッセージが記されたプランターに、マリーゴールドやサルビアなどの花の苗を丁寧に植えました。

作業の後には、委員の荒谷光子さんが「優しい心を持って、今日植えた花のように幸せに元気に生きてほしい」と呼びかけ、児童らは活動を通して命の大切さや思いやりの心を持つことの大切さに、理解を深めた様子でした。



人権擁護委員の藤岡徹さんと花を植える児童



新たに整備された源流周辺と神事に参列する関係者の皆さん

袖山の自然を守る 馬淵川源流祈願祭

町観光協会（遠藤裕樹会長）主催の馬淵川源流祈願祭が5月29日、袖山の馬淵川源流公園で行われ、関係者約20人が出席しました。

主催者を代表して遠藤会長が「町の観光資源のひとつである源流を守り、未来へとつなぐため、昨年に引き続き整備を行いました。多くの方々に訪れていただき、馬淵川の源流がある袖山の自然を楽しんでもらいたい」とあいさつしました。馬淵川源流は、同協会によって5月に祠と源流周辺が新たに整備され、今後は看板を改修する予定です。

児童を引き込む 迫力の語り芝居

5月31日、県青少年劇場の語り芝居「美しいことば 美しいひびき」が葛巻小学校体育館で開催され、町内の小学生約140人が鑑賞しました。

演目は芥川龍之介の「杜子春」と昔話「三枚のお札」で、出演者は多彩な演技力で1人何役もこなし、尺八や三味線の演奏が緊迫感のある場面を効果的に演出。児童は物語の世界に引き込まれていました。終了後、児童を代表して五日市小学校の栗村姫華さん（5年）が「迫力ある演技と演奏で楽しませてくれてありがとうございました」とお礼を述べました。



出演者（円内）の迫真の演技に見入る児童

総合体育大会始まる 前期競技はつらつと

町総合体育大会の総合開会式は6月5日、社会体育館で開催され、各地区体育振興会の選手ら約50人が参加しました。

鈴木重男町長が「コロナ禍でも対策を講じて開催することに敬意を表します」と激励し、酒多早苗さん（江刈B地区体育振興会）が「最後まで楽しく正々堂々と戦います」と選手宣誓を行いました。引き続き開催された前期競技では、男子はソフトボール、女子はファミリーバレーで競い合い、仲間と声を掛け合いながらはつらつとしたプレーを見せていました。



西部対中部Aのソフトボール競技の様子